

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

337

2024年2月8日、佐賀県で『SAGA 半導体戦略シンポジウム』が開催された。筆者は、佐賀県知事の山口祥義氏の10分のスピーチの後、「日本の半導体政策はどうあるべきかー強い半導体材料をより強くすべきー」という題目で50分の基調講演を行い、その後のパネルディスカッションでもパネリストとして多数の意見を述べた。

このシンポジウムについて、二つの驚くべきことがあった。以下で説明する。まず筆者は佐賀県に招待されて、わざわざ佐賀県までやって来て基調講演を行い、パネリストを務めたのである。ところが佐賀県知

事は、自分のスピーチが終わったら筆者に会いさつてもせず、名刺交換もせず、もちろん筆者の基調講演を聴くこともなく、とっとと帰ってしまったのである。これには驚きを通り越してあぜんとしてしまった。筆者は(建前としては)佐賀県知事にオファーを受けたのである。それで佐賀県は、佐賀の地方局RKBが

「なか？」と聞くと、「知事は公務で忙しい」と言われた。しかし筆者だって暇ではないのだ。佐賀県知事の態度は失礼千万である。次にこの日の夜、二つのテレビ局がこのシンポジウムについて報道した。一つは、佐賀の地方局RKBが

「論」と報道したが、その内容は主に佐賀県知事のスピーチだけであり、筆者の基調講演とパネルでの発言は一切触れられなかった。これには驚いてしまった。このシンポジウムの主役は、基調講演を行った筆者ではなく、10分のスピーチを行った佐賀県知事であるような報道だったからだ。

それにしてもNHK佐賀放送は、なぜ筆者の基調講演を無視したのだろうか？その理由が後日明らかにになった。2月24日にTSMC熊本工場の開所式が行われたが、それに合わせてNHKワールドジャパンからインタビュの依頼があった。そこで簡単に電話で「TSMC熊本工場ができて日本

nmの売上が下がっているため、TSMC熊本工場ではつくるものが無いかもしれない」ということを説明した。すると「NHKはニュートラルな立場で放送したいので、批判的なコメントは採用できない」と言われ、インタビュは中止になってしまったのである。筆者は「ああ、これがNHKの本質なのだ」と落胆し、「私はデータと事実に基づいて、極めてニュートラルにものを述べています。誰にも付度せず、誰にも偏ることなく、正論を述べています。それを『批判的』と感じるとしたら、あなたがニュートラルではないと思います」と返答した。

# NHK報道に落胆

## 佐賀シンポで筆者基調講演

2024 2/8 木 14:00~16:10 (開場13:30) (場所)プライダグスクエア・サゼニス

**SAGA 半導体戦略シンポジウム**

参加費 **無料** 先着 **100名** 参加費無料

基調講演 14:00~15:00  
日本の半導体政策はどうあるべきかー強い半導体材料をより強くするべきー  
湯之上 隆氏

パネルディスカッション 15:10~16:10

参加費は無料です。お申し込みは<https://saga.jp/sumo>

佐賀県の『SAGA 半導体戦略シンポジウム』のチラシ

「TSMCの熊本進出で」日本の半導体産業が復活する」というのは間違った認識、専門家は「日本は材料産業を強くする政策を」という内容を報じた。これは筆者の基調講演を取り上げた内容となっている。

一方、NHK佐賀放送は「佐賀県での半導体産業のあり方 シンポジウムで議

「NHK佐賀放送も、NHKワールドジャパンも、ニュートラルな報道をする姿勢が無いと思う。(微細加工研究所・所長)